

令和7年度「高校生と宮城県議会議員との意見交換会」報告書

■ 概要

1 実施日時

令和7年10月29日（水） 午後3時から午後4時30分まで

2 場 所

宮城県泉館山高等学校

3 参 加 者

- 生徒 21人
- 企画広報委員会委員 8人

4 日 程

- (1) 開会行事 15:00～
 - イ 開会
 - ロ 企画広報委員長挨拶
- (2) 泉館山高等学校生徒による活動発表 15:05～
- (3) 意見交換 15:25～
 - イ グループディスカッション
 - ロ 各グループ代表生徒による意見紹介
- (4) 閉会行事 16:20～
 - イ 企画広報委員会副委員長挨拶
 - ロ 記念撮影
 - ハ 閉会

■ 意見交換

1 意見交換の概要

参加者が4グループ（A・B・C・D）に分かれ、A及びBグループは「教育について」、C及びDグループは「地域環境の安全について」をテーマに意見交換を行った。

2 主な意見

(1) 教育について（A及びBグループ）

- ・校舎の建て替え目安は50年であり、現在は順番待ちの状況であるとのことだが、泉館山高校は、管理棟4階で雨漏りが発生するなど老朽化が進行している。
- ・教員が少なく、部活動の新設が困難になっている。中学校の部活動外部委託を参考に、高校でも外部委託を導入してはどうか。
- ・教員が忙しそうで、生徒が教員の多忙を気遣いミスを指摘しにくい状況にある。事務作業をサポートする教員や、専門職員を配置してはどうか。
- ・宮城県の学力が全国的に低い水準にあるため、秋田県のように全教科での少人数指導を導入し、生徒個人の力を伸ばす取り組みを強化してはどうか。
- ・教員研修を充実させ、学校と家庭との連携を強化してはどうか。
- ・福井県のように全国学力テスト直後に自己採点をさせ、迅速かつ効果的な学力向上策を実施できるようにしてはどうか。
- ・仙台市周辺の市町村の高校選択肢が少なく、通学負担が受験において不利になっている。
- ・高校生の睡眠時間確保と学力向上は密接に関連しているため、罰則のないものでも、まずは利用時間を制限するスマホ条例を制定し、睡眠の重要性を啓発してはどうか。
- ・教育予算の流れが高校生にとって分かりにくいため、県予算全体における教育費の役割や使途について、ホームページなどでさらに分かりやすく、詳細に情報公開してはどうか。
- ・泉館山高校の教育のクオリティは高いものの、施設環境が整っていないため、生徒がより快適に学べるよう、特別教室などにエアコンを設置してほしい。
- ・冬期はボイラーア温房しかないと、エアコンの暖房機能も利用できるように整備してはどうか。
- ・3、4階のトイレと手洗いが古いため、当該箇所のトイレと手洗いを改修してほしい。
- ・生徒が使用する机や個人ロッカーを大きくしてほしい。
- ・学校でのプラごみと燃えるごみを分別するため、各教室にごみ箱を2つ用意してほしい。
- ・ＩＣＴ機器の使用において、使用できる生徒と使い方を理解していない生徒との間で格差が生じている。全ての生徒がＩＣＴ機器を有効活用できるよう、1年生の早い段階で外部講師を招いたパソコンの使い方講座を開いてはどうか。

(2) 地域環境の安全について（C及びDグループ）

- ・高校近くの北環状線において、信号無視や横断歩道がない場所での横断が見られるため、生徒や地域住民の安全を確保するために、適切な場所に信号機を設置してほしい。
- ・バス停近くで安全に道路を横断できる場所がないため、利用者の利便性と安全性を向上させるために、バス停の近くに横断歩道を設置してはどうか。
- ・文化祭などで多くの来場者が駐車場を利用する際に駐車スペースが不足するため、来場者用の駐車スペースを確保してほしい。
- ・泉中央駅付近にあるように、高校の近くの通学路にも自転車専用レーンを設置してほしい。
- ・街路樹の木の根による通学路の舗装の凹凸、落ち葉、イチョウの銀杏が、自転車の走行に危険を及ぼしているため、道路の舗装や、街路樹の適切な管理をお願いしたい。
- ・道路の凹凸や、草が生い茂っている箇所があり、自転車の事故が増加している。道路管理者に連絡して伝える仕組みをもっと周知してはどうか。
- ・学校前の複雑な交差点での信号無視が多くなっている。月に一度、生徒が信号付近に立って注意喚起や、啓発看板の設置を行うことを行ってはどうか。
- ・自転車に乗る際のヘルメット着用者が少ない。着用義務化への呼びかけと並行して、万が一の事故に備えるため任意保険への加入を積極的に推奨してはどうか。
- ・最近、熊の出没が多く危険が高まっているため、人間が住んでいる地域と山林との境界が明確になるよう、生い茂り過ぎている木を伐採するなどの環境整備を行ってはどうか。
- ・高齢者による車の事故が多い。運転継続の可否を判断する試験もあるが、高齢ドライバーが安心して免許を返納できる環境を作るために、免許返納者へのタクシー料金割引などの優遇措置を充実させてはどうか。

■ 意見の取扱い

県議会内で共有し、今後の議会活動に生かしていく。

■ 意見交換会の様子



